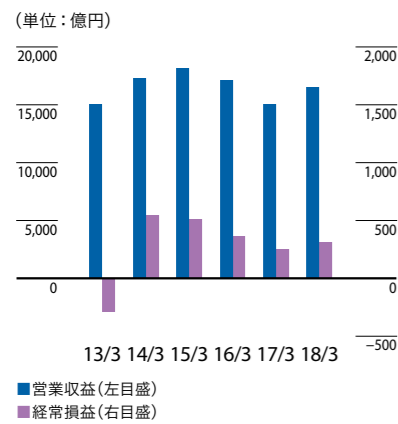


# 主要指標

## 営業収益／経常損益

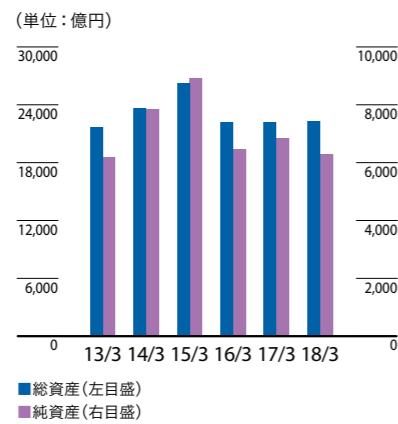
2017年度  
**営業収益** 1兆6,523億円  
**経常損益** 314億円



油送船市況の悪化や燃料油価格の上昇などの逆風はありましたが、コンテナ船事業の赤字が大幅に縮小したことにより経常利益は前年度比60億円増加しました。

## 総資産／純資産

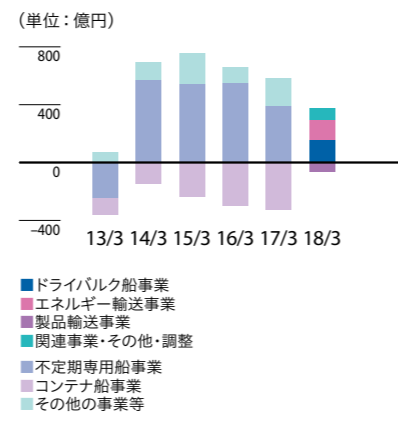
2017年度末  
**総資産** 2兆2,256億円  
**純資産** 6,280億円



総資産は船舶や投資有価証券が若干増加したものの、前年度末比ではほぼ同水準となりました。純資産は主に利益剰余金が減少したことにより、555億円減少しました。

## セグメント別経常損益

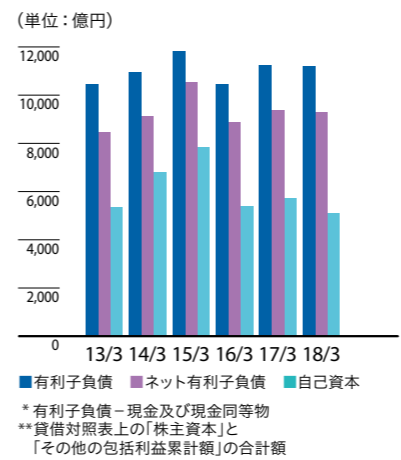
2017年度  
**ドライバルク船事業** 154億円  
**エネルギー輸送事業** 136億円  
**製品輸送事業** ▲63億円  
**関連事業・その他・調整** 87億円



2017年度より開示セグメントを変更しました。油送船事業の損益悪化によりエネルギー輸送事業が減益となる一方、ドライバルク船事業は市況改善によりやや増益、製品輸送事業は大型コンテナ船投入効果等により赤字が大幅に縮小し、全体としては前年度比増益となりました。

## 有利子負債／ネット有利子負債／自己資本

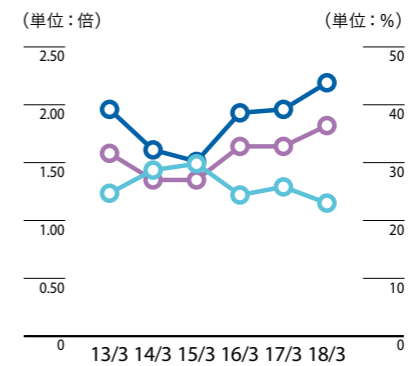
2017年度末  
**有利子負債** 1兆1,180億円  
**ネット有利子負債\*** 9,284億円  
**自己資本\*\*** 5,112億円



短期借入金が増加した一方、社債の償還により有利子負債は前年度末比43億円減の1兆1,180億円となりました。特別損失計上による利益剰余金の減少により自己資本は前年度末比607億円減の5,112億円となりました。

## ギアリングレシオ／ネットギアリングレシオ／自己資本比率

2017年度末  
**ギアリングレシオ** 2.19倍  
**ネットギアリングレシオ** 1.82倍  
**自己資本比率** 23.0%



前年度末比で有利子負債は43億円減、総資産は81億円増、自己資本は607億円減となりました。その結果、ギアリングレシオは23ポイント悪化し、自己資本比率も2.8ポイント減少しました。

## 格付け(2018年6月現在)

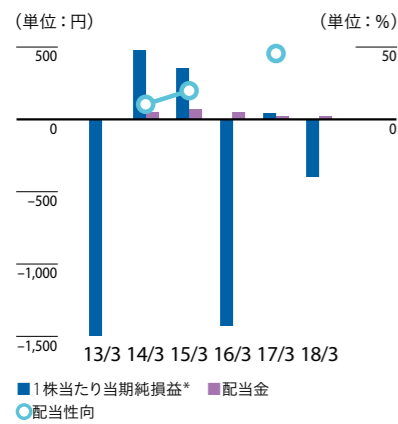
	種類	格付け
日本格付研究所(JCR)	短期格付け(コマーシャルペーパー)	J-1
	長期優先債務(発行体格付け)	A-
	長期格付け	A-
格付投資情報センター(R&I)	発行体格付け	BBB
	短期格付け(コマーシャルペーパー)	a-2
	長期個別債務格付け	BBB
Moody's	コーポレート・ファミリー・レーティング	Ba1

日本格付研究所(JCR) **A-**  
 格付投資情報センター(R&I) **BBB**  
 Moody's **Ba1**

海運市況全体及び当社の業績が緩やかながら着実に改善していることを受け、現在の格付け水準を維持しています。今後も引き続き収益力の強化と財務体質の改善を進め、格付の向上を図っていきます。

## 1株当たり当期純損益\* / 配当金 / 配当性向

2017年度  
**1株当たり当期純損益\*** ▲396.16円  
**1株当たり配当金** 20円  
**配当性向** -%

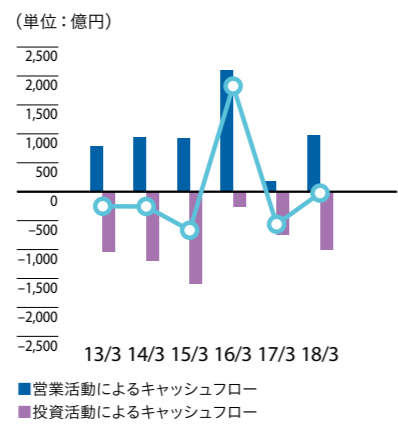


コンテナ船事業統合に関連する特別損失▲734億円の計上により当期純損益\*は前年度比▲526億円悪化し赤字となりました。中間配当1円(株式併合前ベース)、期末配当10円(株式併合後ベース)を実施しました。

\*親会社株主に帰属する当期純損益

## キャッシュフロー

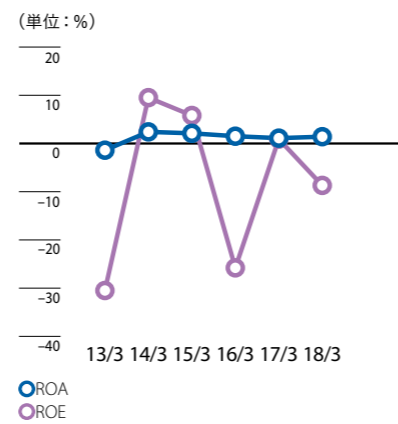
2017年度  
**営業活動によるキャッシュフロー** 983億円  
**投資活動によるキャッシュフロー** ▲1,008億円



投資活動によって支出された資金が前年度比269億円増となった結果、営業活動によって得られた資金は前年度比807億円増加した一方、フリーキャッシュフローは若干のマイナスとなりました。

## ROA(経常損益ベース) / ROE

2017年度  
**ROA** 1.4%  
**ROE** ▲8.7%

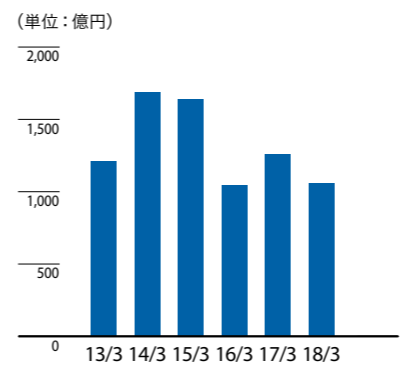


総資産が前年度末比ほぼ同水準となった一方、経常利益は増加したためROAは前年度比改善しました。コンテナ船事業の統合に関連する特別損失計上により当期純損益\*が赤字となりROEは前年度比大幅に悪化しました。

\*親会社株主に帰属する当期純損益

## 設備投資額

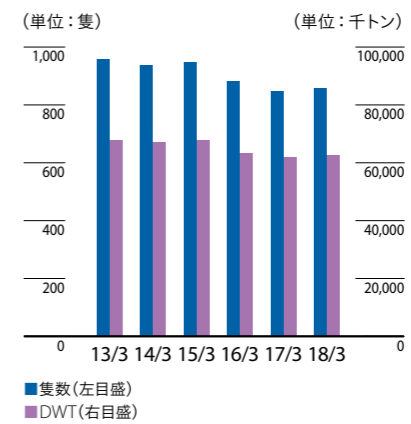
2017年度  
**設備投資額** 1,056億円



この設備投資額は、有価証券報告書に掲載の有形及び無形固定資産の増加額から竣工時売船収入を控除した実質的な設備投資額です。

## 船隊規模(全船種)\*

2017年度末  
**隻数** 857隻  
**DWT** 62,676千トン



2015年度の構造改革実施により、主に中小型バルカーが減少。

\*短期備船、J/V保有船を含む

(註)当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2013年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、各数値を算定しております。